

# 地域でつくる子どもの居場所づくり

## －みなべ町－

### 1 みなべ町岩代放課後ふれあいルーム

【活動日】月、火、水曜日

【活動場所】学校の空き教室

【1回の参加児童数】約20人

### 2 みなべ町岩代放課後ふれあいルームの特徴・工夫点

学校が終わったら、ふれあいルームに子供たちが帰ってくる。家庭に帰ってからの生活のように、帰った子からまず宿題を済ませ、その後室内で遊んだりグラウンドや体育館で遊んだりして活動している。

### 3 取組の具体的な内容

#### (1) 将棋教室

##### ① 活動の内容

子供たちにとって、触れる機会が少ない「将棋」を、指導員の先生に教えてもらう。慣れるまでは難しいので、駒の進め方が書かれた簡単な将棋のセットを使って練習したり、そばについて教えてもらったりしながら遊んでいる。



将棋を教えてもらっているところ

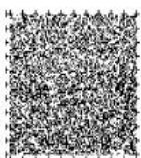


簡単な将棋のセットで練習

##### ② 児童生徒、保護者、関係者、地域の方々などの感想

子供たちは、触れたことのない遊びに夢中になって楽しんでいる様子だった。

保護者の方からは、「親も遊び方を知らなくて教えることができない遊びもありますが、ふれあいルームで将棋等の新しい遊びを教えてもらって、子供も嬉しそうに家で話しています。」との声があった。



## (2) みんなで工作！プラ板づくり

### ① 活動の内容

小さいイベントとして、プラ板づくりを行った。プラスチックの薄い板にそれぞれ好きな絵を描いてトースターで焼き、オリジナルのキーホルダーを作った。



好きな絵を描いているところ



出来上がったキーホルダー

### ② 児童生徒、保護者、関係者、地域の方々などの感想

児童の声としては、「楽しかった。」「おもしろかった。」「家の人にもすごいなあとほめてもらって嬉しかった。」などの声があった。指導員によると、子供たちはそれぞれ上手に好きな絵を書いて、かわいいキーホルダーを作り、とても楽しんでいたようだ。

## 4 事業を実施して

子供たちが、異学年の児童や地域の方々と関わる良い機会になっている。上の学年の子は、下の学年の子たちの面倒をみてあげたり、指導員を助けてくれたりしているようす。ふれあいルームでの時間をとおして、異学年との関わり方も学んでくれている。指導員が子供を見守り、子供たちが宿題や遊びをとおして人間関係などを学ぶことができる、ひとつの居場所づくりが出来てきているように思う。また、子供たちが地域の方々と交流することで、地域に頼れる大人が増えたり、自分たちの知らない遊びを教えてもらえる人ができたり、家でも学校でも得られないことを得られる時間にもなっている。放課後の子供の居場所として、地域と一緒に、運営を継続していきたい。

## 5 問い合わせ先

みなべ町教育委員会 教育学習課

Tel : 0739-74-3134

Fax : 0739-74-3621

Mai : tanaka.chi@town.minabe.lg.jp

